

日本クマネットワーク

街に出るクマ

～アーバンベアとどう付き合うか～

活動地域  日本全域



増備したクマトランクキットの中身

課題

近年クマの市街地出没が増えているが、その情報整理と対策は十分ではない。奥山でクマを保全し、市街地で人の安全を守る「ソーニング管理」の普及と環境整備が課題である。

目標

クマが市街地に出没する要因や対策の必要性を理解できる住民・行政を増やすと同時に、地域が主体的に出没対策を行い、継続的に普及啓発活動を実行できるようにする。



今後の展望

クマの市街地出没事例から対応方法などの解析を進める。また、地域住民の意識を向上させるワークショップやクマトランクキットの担い手育成講座を開催し、各地のクマ事情に沿ったアーバンベア対策の基盤を整える。

ひろげる助成

1年目

調査研究

活動内容と成果

- 全国各地の過去10年間で発生した約80件のクマの市街地出没事例を収集し、情報解析を行っている
- モデル地域（北陸：石川県・富山県、神奈川県、札幌市）において住民意識の調査を行い、地域の人々のクマに対する理解度を定量化した
- クマの普及啓発用の無料貸し出し教材トランクキットを4個作成した。また、トランクキットの使い方を解説する手引書を新たに作成し、関連する動画も3本公開した
- 上記の活動は、オンラインでの情報交流会（80人以上の参加）やHP及びFacebookで精力的に情報発信を行った



YouTubeにあげた動画のサムネ

クマ市街地出没事例の収集 **80件**

クマトランクキットの作成 **4個**

今年度計画の達成度 **80%**

目標達成度 **30%**

苦労した点と工夫した点

■苦労した点

新型コロナウイルスの影響により、現地調査や各活動をまたぐ大きな対面会議が行えず、特に前半期の活動進行に苦労した。

■工夫した点

ウェブを活用した頻繁な情報交換を心掛けた。また、活動内容を臨機応変に変更し、対面だけでなくでもできる活動を前倒しで進めた。

〒060-0818

北海道札幌市北区北18条西9丁目
北海道大学獣医学部S棟102野生動物学教室内

HP: <http://www.japanbear.org/>

